

令和 2年度

事務事業評価表（ 令和元年度 の実績評価）

記入年月日

事務事業名	地域ケア会議事業	事業区分		担当	
		新規/継続	継続	事務事業No.	010603000990
政策体系上の位置付け		単独/補助	補助	所属課	040501
政策体系 総合計画の施策名 政策名 施策名 手段名	0106 高齢者福祉の推進			高齢福祉課	
	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			課長名	
	06 高齢者福祉の推進			グループ	高齢福祉グループ
	03 ③総合相談の充実と地域医療と介護の連携推進			担当者名	
財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目	会計	款	項目	事業	単年度繰返し (平成29 年度～)
	06	05	04	07	01 00
法令根拠		介護保険法			

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

（1）事務事業の概要

手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>地域ケア会議は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護、医療、福祉等の各種サービスや地域における多様な社会資源の調整を行い、多職種の連携による包括的及び継続的な支援を行うことを目的としている。</p> <p>地域ケア会議に地域ケア個別会議(以下「個別会議」という。)を置き、事例に応じ必要と認めた者を召集して開催し、地域ケア会議に報告する。個別会議は、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じて、高齢者を地域全体で支援していくことを目的としている。</p> <p>地域ケア会議は、個別ケースを検討する会議から、地域課題の解決を検討する会議まで一体的に取り組む。</p>	<p>地域ケア会議委員の選任後、委嘱又は任命(15人以内)</p> <p>個別会議の開催・・・個別ケースの検討対象者の選定と会議出席者の検討会議の開催(開催の通知・連絡を含む)</p> <p>地域ケア会議の開催・・・委員への通知、会議終了後、報酬の支払</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
個別会議並びに地域ケア会議の開催	個別会議の開催回数		2.00	1.00	8.00	8.00	8.00
	地域ケア会議の開催回数		0.00	0.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
65歳以上の高齢者で支援が困難な事例とそれをケアマネジメントする介護支援専門員	65歳以上の高齢者で支援を受けた人		2.00	1.00	15.00	15.00	15.00
	担当した介護支専門員		2.00	1.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる	課題が解決した事例、若しくは調整ができた事例		2.00	1.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		30年度	01年度	02年度			期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)			
投 入 量	事業費 内 訳 財 源	国庫支出金 県支出金 地方債 使用料・手数料 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円 千円	69 34 0 0 44 34	0 0 0 0 0 2	36 18 0 0 21 18	0
		事業費計(A)	千円	181	2	93	0
		正規職員従事人数	人	2,00人	3,00人	3,00人	0
							0
							0
							0
							0
							0

01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)		
事業費の内訳	12 役務費	2	01 報酬	24	
			08 報償費	54	
			11 需用費	6	
			12 役務費	9	
合計		2	合計		93

事務事業名	地域ケア会議事業	事務事業No.	10603000990	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?					
団塊の世代が75歳以上となる平成37年を見据え、在宅の高齢者や障害者等に対して地域社会全体で取り組む総合的なケアシステムとして茨城型地域ケアシステムを平成17年度より実施してきたが、平成27年の介護保険法の改正により、平成29年度より、地域ケア会議に移行した。令和元年度より国で推奨されている「介護予防のための地域ケア個別会議」を開始した。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 高齢福祉の推進に結び付いている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> H27年度の介護保険法改正で制度的に位置づけられ、市町村が地域ケア会議を行つよう努めなければならない旨が規定された。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> H29年度より開始した事業であり、今後、個別事例が増加、事例を積み重ねることで地域課題の発見や資源開発につなげることができ、地域包括ケアシステムの構築が推進される。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <input type="checkbox"/> 高齢者の増加に伴いケアマネジメントを必要とする事例も増えているため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む))
	<input checked="" type="checkbox"/> (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 地域ケア個別会議は、医療介護専門職などに無償で助言をいたしており削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 各事業所から順番に事例を提出していただくことになっており、困難事例についてもいつでも相談対応できる体制をとっているため。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→ H29年度より事業を開始。令和元年度から介護予防に重点を置いた個別ケア会議を開始したので検討数が少なく個別ケースの課題分析の積み重ねから地域課題の発見や解決に向けた検討を行うまでには至っていない。																	
(3) 今後の事業の方向性																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td><td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td><td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td></tr> </table> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる											
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																	
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		
定期的に個別ケア会議を開催することで事例の積み重ねができ、地域課題の発見に結び付けられる。																		
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <th>向 上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維 持</th> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上	<input checked="" type="checkbox"/>		維 持		<input checked="" type="checkbox"/>	低 下	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	コスト																	
	削減	維持	増加															
成 果	向 上	<input checked="" type="checkbox"/>																
	維 持		<input checked="" type="checkbox"/>															
	低 下	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>															
(6) 事務事業優先度評価結果																		
成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ②																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) B:継続(改革改善を行う) C:終了・廃止・休止 D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>